

要請番号 (JL02624B08)

募集終了

8

重点分野
経済成長

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	A102 コーヒー	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2025/1・2025/2・ 2025/3・2026/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

法務省

2) 配属機関名 (日本語)

パルシック 東ティモール事務所
NGO

3) 任地 (アイナロ県マウベシ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約3.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

NGOパルシックは、2008年に発足した民際協力NGOで、日本を含むアジアの10カ国において、緊急支援事業、復興支援事業、経済自立支援、フェアトレード等の事業を実施している。東ティモールにおいては、2003年にJICA草の根技術協力事業によりマウベシ地区の18集落のコーヒー農家が加盟するコーヒー生産協働組合(COCAMAU)の組織化を行った。その後、現在に至るまでコーヒーの収量増加、コーヒー農家の収入向上、農家を担う若者たちのエンパワーメントを行い、現在は30集落のコーヒー農家が組合に加盟するに至っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

東ティモールでは、人口のおよそ3分の1にあたる6万7000世帯がコーヒーを生産し、生産者は年間収入の8割以上をコーヒーに依存してきた。他方、古木化・老朽化等の影響で、収量が低下しており、収量は、東南アジアのコーヒー生産国平均の約2割となっている。NGOパルシックがサポートを行ってきたマウベシ地区のコーヒー組合員たちは、収穫、加工、畑の改善などの一連の作業に関して熟知している一方、品質管理に関しては改善の余地があり、JICA海外協力隊の要請に至った。併せて、隊員にはコーヒーをコンテンツにしたマウベシへの観光ツアーの企画、運営を試行することにより、組合員の収入向上を目指した新たな活動展開も期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 可能な範囲で農園を巡回し、収穫、加工、畑の改善などの一連の作業を理解する。その後、作業カレンダーや品質管理表を作成し、組合員と共に品質管理の可視化、マニュアル化を行う。
 - 組合員と共に、管理表やカレンダーを元に生産工程や品質管理のモニタリングを行い、持続可能な品質管理の仕組み作りをサポートする。
 - 日本の消費者の状況や嗜好を生産者である組合員に伝える。
 - コーヒーをコンテンツにしたマウベシへの観光ツアーを試行する。
- ※一連の活動を行う中で、カウンターパートとなり得る人材を発掘するところから実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所、デスク、倉庫、自転車(JICA事務所より自転車を貸与)

4) 配属先同僚及び活動対象者

パルシック事業担当者: 男性、30代、経験10年

コーヒー生産協働組合長: 男性、40代、経験10年

活動対象者:

コーヒー生産協働組合員: 約900人

5) 活動使用言語

テトゥン語

6) 生活使用言語

テトゥン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]: ()

[学歴]: () 備考:

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 2年以上 備考: 配属先からの要望

[汎用経験]:

- ・ コーヒー栽培や加工方法に関する知識や経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (17~28°C位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水道]: (安定)

【特記事項】

隊員が居住する住居は、ワンルームアパートメントまたはホームステイとなる。
巡回時は自転車を利用する可能性がある。